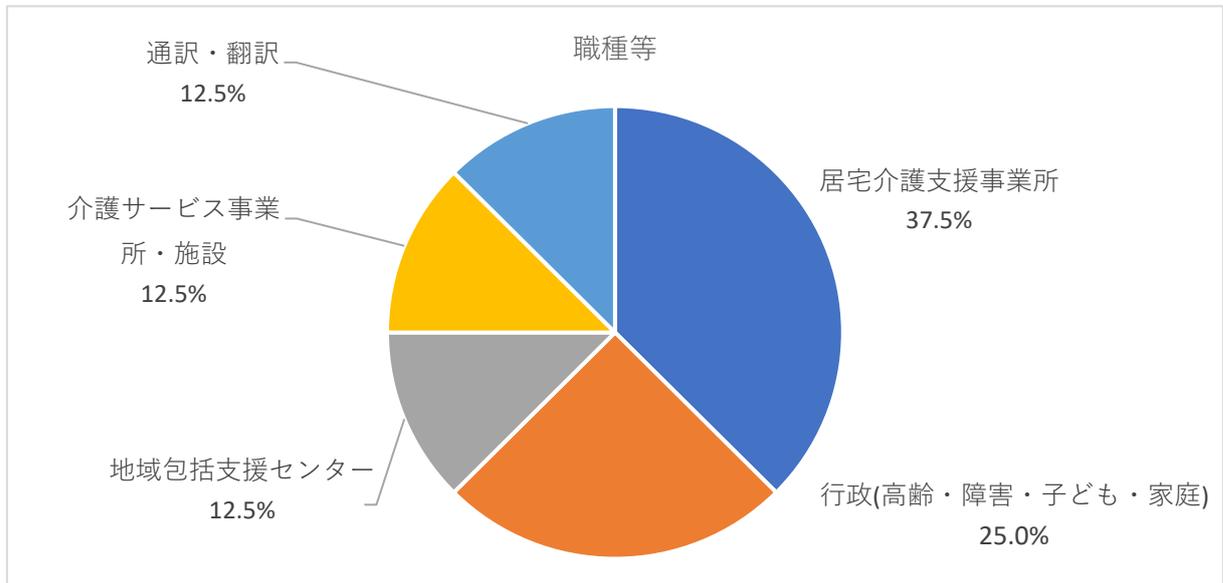


2023.6.25(土)権利擁護セミナー

「障害者権利条約の国連勧告から見た日本の実態を知り、考える②」振り返り

特定非営利活動法人宮城福祉オンブズネット「エール」

参加者（オンライン・会場）：46名



【項目①】「障害者権利条約の国連勧告から見た日本の実態を知り、考える②」の講義を受けて、感じたこと、思ったことはなんですか。

・当たり前になっていたことが、権利を侵害していることになると感じた。

・日本は世界から見て遅れている。変えていかなければいけないことはたくさんあるのだと感じました。

・前回は参加しましたが、忘れてしまっていることも多く、学び直しができました。

・私の職場は父権主義の風潮や医学モデルの見方が浸透しているため、それに対して強い違和感を持ちながらも、どうしたらそこから脱却できるのか、見出せずにいました。今日受講させていただいたおかげで、自分自身の違和感をもっと職場で出していかなければいけないと思いました。パターンリズムな上司と正面から議論しても「本人のわがまま」「本人ができないから」と決めつけて一蹴されるだけなので、「それってどうしてですか」「本人はなんて言ってましたっけ」「本人はこう言ってました」「その理由を本人に聞いてみませんか」など、丁寧に食い下がってみようと思いました。職場の中にいかに社会モデルや本人主体を浸透させるかが私のテーマの一つだと、これまででもやや感じていましたが、今日はっきりとそう思いました。

・日本政府の意見が全く見当違いな回答をしていることについて、基本的な考え方を換えようとしめない姿勢、憲法にある基本的人権についてあいまいな解釈のまま説明をしないなど、日本人らしいといえばそれまでですが、やはり今の時代にそぐわないと感じました。人それぞれの解釈の仕方捉え方が違うことの責任を当事者任せにするのではなく、国として責任を持つ取り組みをしてほしいと思いました。

<ul style="list-style-type: none"> ・いかに実行していくかについての課題と可能性。
<ul style="list-style-type: none"> ・普段の業務において、障害や病気から介護保険の利用となった方の権利について考えますが、違和感や、やるせなさを感じる事があります。しかし、現場においては研修事例 T さんのように、あたかも病気になったらこれが普通というように処理されていく事が普通にあります。自身の年齢から考え、職務上では次の世代へ引継ぎ（指導・教育）を意識して業務しておりますが、研修であった事例のような事は日常的に相談を受けたり、耳にしており、他職員と意見を交えますが、そもそもの人の権利というものを相談する側も受け手（じぶん）もどこかへ置き忘れていたことも有ります。また、その人の権利はないのか？と思っても、職員と意見を交える体力、他事業所や病院関係、家族と話していく事はとても難儀なことです。それでも大橋先生がおっしゃったように、現実的に難しいことも少数でも声を上げ続けることが大切なんだと、あらためて感じる事が出来ました。
<ul style="list-style-type: none"> ・講義を聴いている中で、居宅介護支援事業で介護支援専門員として利用者、家族と関わる時は自己決定支援を意識していたが、成年後見制度では、自己決定支援の意識が薄く代理決定していたが多かったことに気づいた。また、精神科に医療保護入院している被後見人について6か月に1度保護継続が必要かについて病院と話す機会がある。その際今後対応困難な場合には退院について相談したいと話され常に違和感を感じていた。障害や病気の症状だけではなく関わり方にも問題があるのではないかと考えてもそのことへ対応することができず、権利を守ることができていないことを痛感した。

<p>【項目②】 話し合い、意見交換をして、感じたこと、思ったことはなんですか</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな人の意見が聞けて、気づくことが多かった。
<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の仕事でも、権利侵害をしてしまっていることがあると感じました。本人や家族、支援者からの話の中で違和感を感じる事、感じたらそのままにせずになぜ？と聞くことにより気づくことがあるのだと思いました。
<ul style="list-style-type: none"> ・本人のため、これがいいと押し付けることはいけないけど本人と話し合う中で意見として伝えることも必要。現場ではあるあるの話でも本人の権利侵害をしているのかもと考えながら支援を考えていく必要があると思いました。
<ul style="list-style-type: none"> ・本人意思決定支援の難しさについて、自分が日ごろ感じていたことを共有することができました
<ul style="list-style-type: none"> ・支援と支配は紙一重という言葉通り、しっかりと意識しないと、本人主体、本人の権利というものを見ないまま進めてしまいがちであることに気づきました。
<ul style="list-style-type: none"> ・同じような意見を持つ方との対話でき良かったと思いました。また現状の立場でやむなく対処している、対処しなければならないことを認識（共感）することもありました。
<ul style="list-style-type: none"> ・意見交換の中でも自分で決めること、本人主体を意識し、かわいそうとかは思っていなかったが、自分で工夫したり苦労することや経験を奪うということまでの考えには至っていなかった。
<ul style="list-style-type: none"> ・今回初めての参加でした。先生方がおっしゃっていた異業種交流の良さ、面白さを zoom を通してでしたが実感できました。どうしても同業者の意見は同じような思考になりがちで、凝り固まった見方をしていることに気付けないのだろうと思いました。次回は zoom ではなく会場へ行き対面で参加したいと思います。

<p>【項目③】 その他、このセミナーで感じたこと。思ったこと。ご意見等。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 弁護士の考え方を聞いてよかった。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 合理的配慮というよりは、合理的調整ということを中心に留めて、これから本人とかかわっていきたいと思いました。 また、スティグマの排除というところで、家族や本人自身にも病気のことや障害などについて偏見があるということを経験して仕事をしています。 今後は、どうすれば少しずつでも良くなっていくかを職場の同僚や異業種連携で考えていきたいと思いました。 本日はありがとうございました。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回は午後からの参加になってしまいましたが、大橋先生や小湊さんの存在に深く励まされた集いでした。ありがとうございました。投げかけていただいた問いは、今後も自ら問い続けながら（一人ディベート）、深めていきたいと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ありがとうございました
<ul style="list-style-type: none"> ・ 最近介護保険が周知されるようになり病院関係者から紹介や相談を受けます。しかし、事例Tさんのような本人の考えや思いを確認せずにざっくりとした説明で介護保険の申請が説明や必要の検討がなされないままサービスありきで依頼が来ることがあります。介護保険を知ってもらい医師との連携は図りやすくなりましたが、次は一つ踏み込み医療側の方へも申請や制度の理解、本人の権利についても配慮した対応ができる世の中になって欲しいと思いました。 難しい内容で研修内容が自分に理解できるだろうかと不安に思いながら参加しましたが、参加しとてもよかったと思いました。 ありがとうございました。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の研修を受け、自分自身の振り返りで知らず知らずに権利侵害してしまっていたことに気づいた。今回の研修資料を再度読み返し、今後活かしていきたいと考えています
<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度ケアマネジャー取得をきっかけに、権利擁護についてもっと学びたいと思い参加させていただきました。今後も同様の機会がある際には参加しますのでよろしくお願ひします。